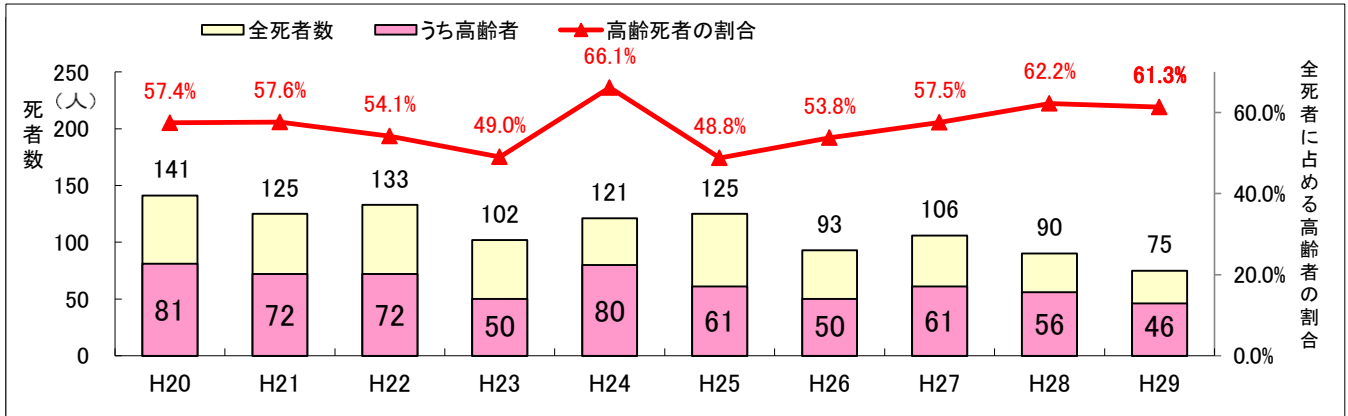


# 高齢歩行者の横断事故分析

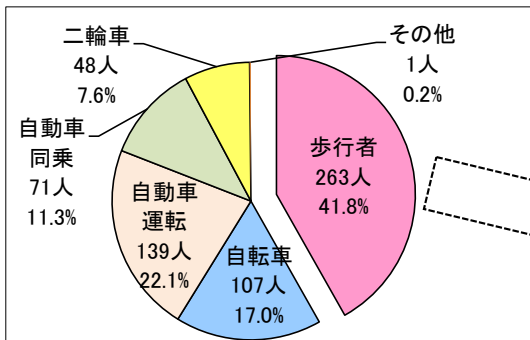
## ～過去10年間(平成20年～29年)のデータから～

過去10年間の交通事故死者数の推移をみると、全死者数は減少傾向にあるなか、高齢死者数についても減少傾向がみられるものの、昨年は46人で全死者の61.3%と高い割合を占めている。

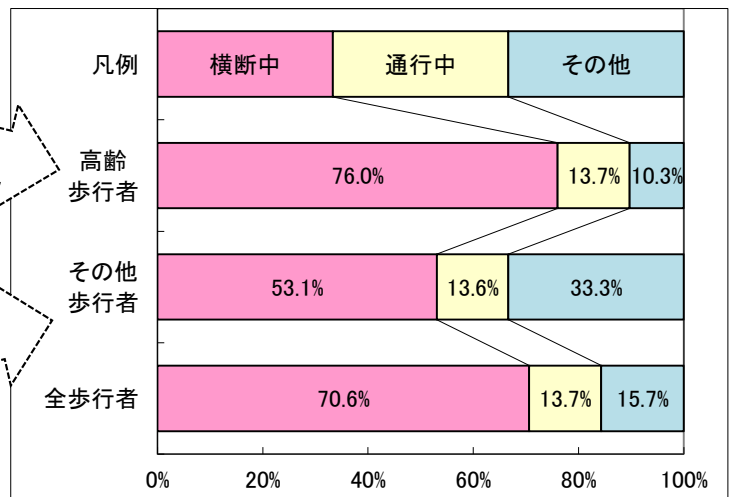


過去10年間(平成20年～29年)の高齢死者を分析してみると、歩行者の割合が41.8%と最も多く、さらに、高齢歩行者は横断中の被害が76.0%と高く、高齢者以外の横断中被害と比較すると22.9ポイントも高い。

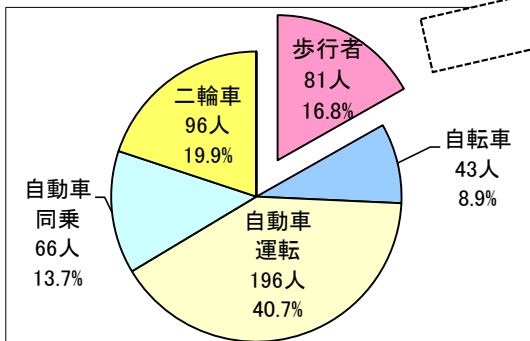
【 高齢者の死者(状態別)・629人 】



【 歩行中死者の行動類型別 】



【 高齢以外の死者(状態別)・482人 】

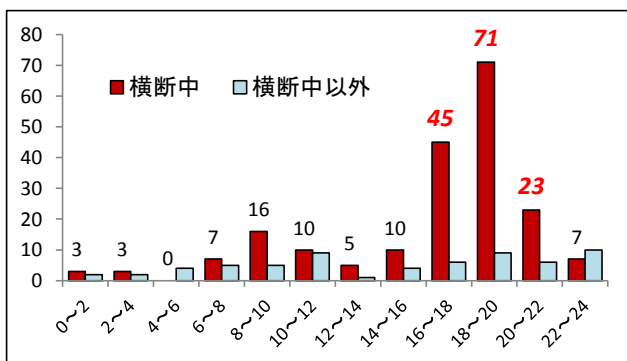


	横断中	通行中	その他	合計
高齢歩行者	200	36	27	263
その他歩行者	43	11	27	81
全歩行者	243	47	54	344

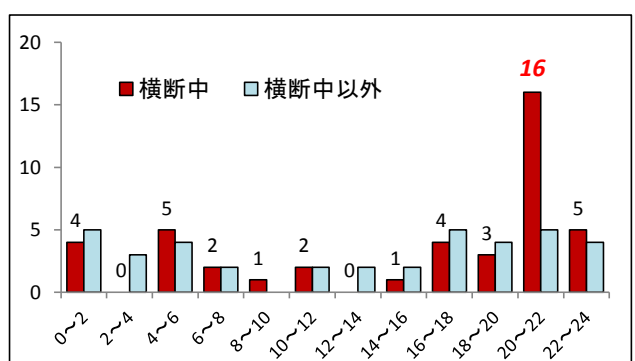
【 歩行者の死者 時間帯別・行動類型別状況 】

歩行者の死者を行動類型別に時間帯を見ると、高齢者は16時以降急激に横断中の死者数が増え、16時から20時のいわゆる「魔の時間帯」が多発傾向にある。さらに、高齢者以外と比較してもこの時間帯の横断中の被害が目立つ。

【 高齢歩行者の死者・263人 】



【 高齢者以外の歩行者の死者・81人 】

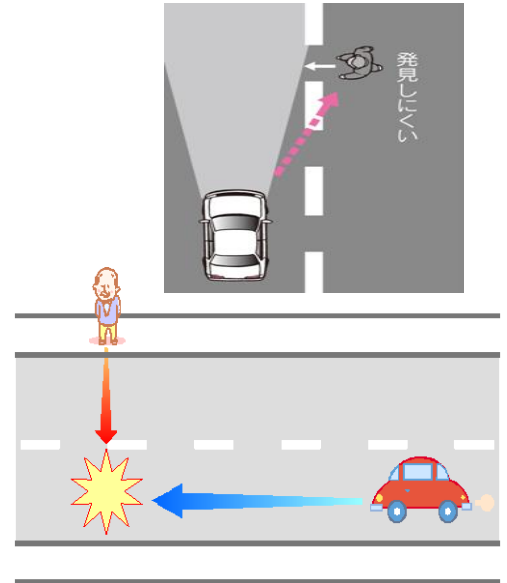


## 1 横断時における横断方向の特徴

全般的に横断時は、歩行者から見て『左からの車』と衝突する事故が68.7%と高率を示し、「右からの車」と比べ約2倍である。特に高齢歩行者は、横断時に左からの車と事故に遭う率が高く、さらに夜間は74.4%と高率を示している。

これらの原因として、車両のヘッドライトが行き届かない道路右前方の問題や、高齢者の特性である服装の色合い、車両に対する速度感覚不足、横断途中の安全不確認などが考えられる。

区分		昼間		夜間		合計	
		件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
高齢者	左からの車	34	55.7	105	75.5	139	69.5
	右からの車	27	44.3	34	24.5	61	30.5
	計	61	100.0	139	100.0	200	100.0
その他	左からの車	2	33.3	26	70.3	28	65.1
	右からの車	4	66.7	11	29.7	15	34.9
	計	6	100.0	37	100.0	43	100.0
合計	左からの車	36	53.7	131	74.4	167	68.7
	右からの車	31	46.3	45	25.6	76	31.3
	計	67	100.0	176	100.0	243	100.0



## 2 高齢歩行者の運転免許保有別横断方向

運転免許を持たない高齢歩行者は、横断時に反対車線で被害に遭う率が71.1%と高く、免許保有者と比べると7.7ポイントも高率を示す。

区分	免許あり		免許なし		合計	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
右から	26	63.4	113	71.1	139	69.5
左から	15	36.6	46	28.9	61	30.5
計	41	100.0	159	100.0	200	100.0

### <参考>

#### 1 高齢歩行者死者の免許保有状況

高齢者の運転免許保有状況は、高齢人口の62.5%であるが、高齢歩行者の死者のうち、運転免許を保有していない人は76.4%であり、免許を持っていない人が被害に遭いやすい。

また、人口1万人当たりの死者数を比較してみると、免許なしの高齢者が免許ありの5.4倍と高率である。

区分	高齢者			15歳(中学生以外)~64歳			子供 (免許なし)	合計		
	免許あり	免許なし	小計	免許あり	免許なし	小計		免許あり	免許なし	小計
死者数	62	201	263	50	27	77	4	112	232	344
構成率	23.6	76.4	100.0	64.9	35.1	100.0	—	32.6	67.4	100.0
人口1万人当たり死者数	1.70	9.15	4.49	0.48	2.59	0.67	0.16	0.79	3.91	1.71
人口に占める免許保有率	62.5%	—	—	91.0%	—	—	—	70.5%	—	—

注：人口は平成29年10月1日現在推計人口。  
免許保有者数は平成29年12月31日現在。

#### 2 高齢歩行者の運転免許保有別違反別状況

運転免許なしの高齢歩行者は、横断歩道外横断・横断禁止場所横断等の交通ルール無視や、直前直後の横断等、無理な横断が原因の事故が目立つ。

区分	違反あり									違反なし	総計	
	信号無視	通行区分 (左側・車道通行)	横断歩道 外横断	斜め横断	駐停車 車両の直前 直後横断	走行車両 の直前直 後横断	横断禁止 場所横断	酩酊 ・徘徊	その他			小計
免許なし	13	18	18	13	2	76	7	8	4	159	41	200
構成率	6.5	9.0	9.0	6.5	1.0	38.0	3.5	4.0	2.0	79.5	20.5	100.0
免許なし率	65.0	69.2	94.7	76.5	100.0	82.6	87.5	66.7	50.0	77.9	69.5	76.0
免許あり	7	8	1	4		16	1	4	4	45	18	63
構成率	11.1	12.7	1.6	6.3		25.4	1.6	6.3	6.3	71.4	28.6	100.0
計	20	26	19	17	2	92	8	12	8	204	59	263
構成率	7.6	9.9	7.2	6.5	0.8	35.0	3.0	4.6	3.0	77.6	22.4	100.0

※ 運転免許をもたない高齢歩行者の交通事故被害の特徴は、免許がない故に運転経験がなく、交通ルールの認識が薄い、車両の速度感覚に慣れていない等の結果、運転者から見て右から横断時に被害に遭いやすいと考えられる。